

現代陶芸の鬼才 栗木達介展

と き / 8月28日(金)～9月27日(日) 9:30AM～5:00PM
 と ころ / 京都国立近代美術館 (祝日以外の月曜休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4111

栗木達介は、1943(昭和18)年に愛知県瀬戸市に生まれた。京都市立美術大学で富本憲吉・近藤悠三・藤本能道らに学び、特に富本には最後の学生として大きな影響を受けた。卒業後、郷里瀬戸に戻って作陶活動を始め、主に手捻りによる作品を発表。その新しい造形意識と卓越した技術は、朝日陶芸展での三度の受賞をはじめ、中日国際陶芸展、日展などの公募展で受賞を重ね高い評価を受けた。78年には日本陶磁協会賞受賞し、83年からは母校の京都市立芸術大学で後進の指導を行うようになったが、2013年に急逝した。



「しろとぎんの作品Ⅱ」 1974年
 敦井美術館蔵

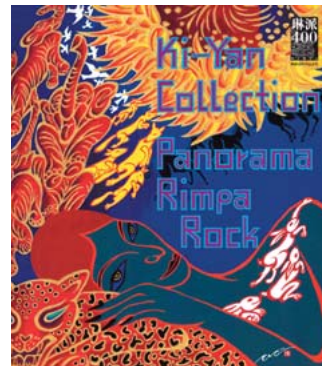
栗木の作陶は、陶家に育ったゆえの焼きもの観が器体の亀裂や形の歪みを拒み、それらを材料や窯の改良ではなく様々な工夫により見事に克服し、〈しろとぎんの作品〉(1974)などの作品では、独特の形態を創り出した。そこには土を焼成するとき避けては通れない偶然性に対する問題も、卓越した技術と鋭敏な感性により、知的で完成度の高い作品に結実させている。

本展は、「模様から模様を造らず」を旨とした富本憲吉を師匠に、器物に現代的な加飾を施すことで現代陶芸に一石を投じた加守田章二を先輩に持った栗木の仕事を検証し、戦後の前衛陶芸や現代陶芸を考察する。

琳派400年記念祭 特別展覧会 キーヤンコレクション 繪舞台 琳派ロック

と き / 9月3日(木)～9月17日(木) 10:00AM～7:30PM
 と ころ / 京都高島屋グランドホール (7階)
 京都市下京区四条河原町 ☎075-221-8811

日本のロック黎明期にロックイベントプロデューサーとして時代を駆け抜けた男、木村英輝(キーヤン)が、還暦を前に繪描きとなった。木村英輝は、1942(昭和17)年大阪府に生まれ、京都市立美術大学図案科を卒業後、同大講師を務める。日本のロック黎明期にオルガナイザーとして数々の伝説的イベントをプロデュース。還暦より絵師に転進。手がけた画面は国内外で150カ所を超える。ロックと共に歩んで来た半生は躍動感溢れる画面にもあらわれる。アトリエでキャンバスに向かうのではなく、「ライブ」な街を描きたい、を標榜、究極のリアリズムを標榜する異色の絵師である。作品集に『生きる儘』『無我夢中』『LIVE』など。



本展では、「毘沙門天立像繪図屏風」(京都・建仁寺塔頭 靈源院)、「睡蓮の仲間たち」(鷹峯・常照寺)、「Red Jaguars繪図屏風」「Sunflowers繪図屏風」、「Smiling elephants」(襖絵)ほかの力作多数が展示される。

会場	日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	10/1木
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	現代陶芸の鬼才 栗木達介展																															
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	特別展観 第100回大蔵会記念仏法東漸 - 仏教の典籍と美術 -															第3回コレクション展																
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	細川家 永青文庫コレクション8-近代絵画-										再興十周年記念 洛陽三十三所-観音霊場の再興-										ユネスコ世界記憶遺産登録候補 東寺百好文書展										
	3F	祇園祭-鯉川の名宝-																														
	4F	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアリーの戦い」展~日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎~																														
	5F	三谷祐幸 米寿記念展 Beginning 併催 関西美術院の画家達展					遊々展 上田ミチヨソインテグ教室発表会 第7回洛展(日本画) 京都ファインド・アイ 現代・文人光画展					第26回 光風工芸 明日へのかたち展					中藤益子バリ帛国展 ※24日(木) 休室					第16回 DPI展					絵更紗美術協 会会員作品展					
	6F	藤波晃作品展															第18回 竹心展															
	別館	音楽会		音楽会		よろこ美 むす美		音楽会		音楽会		イベント		京都アートフリー マーケット2015秋		講演会																

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1											
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木											
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	ルーヴル美術館展 日常を描くー風俗画にみるヨーロッパ絵画の真髄																																									
		マグリット展																																									
	別館	光陽展京都準本展							読書法展 関西展							再興第100回院展 京都展							→10/12																				
		平成27年度 京都書道連盟展							第103回日本水彩展 第14回日本水彩関西 支部合同展							LINK展13							生徒作品展 京都市幼児	→10/4																			
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	第62回日曜画家展							京都写真倶楽部連盟展							京都勤労者 文化祭書道展							日中友好京都きりえ展							国創展	→10/4												
		第19回下部美術教室展 ～30周年記念～							第35回 魁書道展							第39回日本画光玄展							新陶彫 京都展							→10/4													
	2F	第45回 京都写真芸術家協会展							第34回蒼林社展 (水墨画)							第81回創紀展 (日本画・洋画)							第44回 遊於書展							永脩会書 展							京水会 丹青展						
3F	第46回装研会 (表装)							創元会 京都支部展 (洋画)							第44回 遊於書展							仲々会作品展 (洋画)							ふしぎな 花俱樂部							→10/4							
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	企画展 没後40年・堂本印象名品展Ⅱー館外所蔵の名品を中心にー 同時開催 京都現代作家展 来野あぢさ展																																										
① 何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	何必館コレクション展																																										
① 高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊 ホール	松崎和実 - 技と和み - 木彫五人展							花不二 岡信孝展							第9回 個の地平 (洋画)							千家十職 十七代 水樂善五郎展							金重様展	→10/6												
		加藤 深山 朝倉美津子 ORITATAMU展							八代 清水六兵衛展 (陶芸)																					ガラス 二人展	→10/6												
① 大丸 中京区四条高倉 211-8111	ミュージアム	琳派400年記念祭 特別展覧会 キーヤンコレクション 繪舞台 琳派ロック							フランス文化勲章 シェバリエ受章記念 赤木曠児郎展							移ろいゆく景色のひかり 吉田伊佐洋画展							心の翼をひろげて 森小夜子人形展							秋の茶道具展							アノラ スベンス 絵画展	→10/6					
		「心が叫んでいるんだ×あの日見た花の名前を僕 たちはまだ知らない」展 (アニメ原画)																																									
① 中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	三浦景生展 (月曜休廊)																												→10/18														
① 並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	休館 「並河七宝の古雅」																												→12/13														
① 美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	世界の絵本作家展Ⅳ ユトリロとヴァラドンー母と子の物語ー																												→10/18														
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1											
会場	日曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木											
① 貸 アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	西澤初美展ー生命礼賛ー							第6回京京展 (日本画)							石原智是展 (平面)							青木明煌 仏像彫刻展							西山喬 展	→10/5													
① 貸 アートスペース虹 三条通上都ホテル隣 761-9238	井浦崇+大島幸代 映像インタラクティブ							児玉靖枝展「深韻ー花違え」 14日 (月) 休廊							石塚源太展 (漆) 28日 (月) 休廊															→10/4													
① 貸 アートスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	夏期休廊							第9回 楽しい彫塑a展														梅戸洋子 写真展							→10/4														
① 貸 Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122	嫋嫋 vol.3 三人展 日本画・洋画							絲展 日本画 四人展							現代造形4人展 (陶彫刻・油絵ほか)							川端祥夫展 ーマボロシの橋を渡るー							水口 裕美子展							→10/4							
① 貸 アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	常設 hakuhou-doh展																																										
① 貸 綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787	貸ギャラリー受付中																												松浦すみれ個展	→10/10													
① 貸 イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-3732	山崎史生展 (木彫) 日、月、祝 休廊																																										
① 貸 一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	常設展																																										
① 貸 芸州堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																										
① 貸 絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																										
① 貸 延寿堂ギャラリーソフォア 中京区二条寺町東入 211-5552	長谷川美穂 陶展ー灰釉ー (木曜休廊)							休							東敬恭 ガラス展 (木曜休廊)														→10/6														
① 貸 御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展 (日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田達郎・熊谷守一等							現代作品展							洋画/日本画常設展 (日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田達郎・熊谷守一等														→10/6														
① 貸 カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画常設展																																										
① 貸 画廊おかざき 左京区岡崎神宮道西側 761-0027	現代工芸作家常設展																																										

①: 企画および常設を中心に活動する画廊 ②: 貸画廊

畠中光享・林哲夫 作品展

と き/9月1日(火)~9月6日(日) 12:00~7:00PM

ところ/ギャラリー恵風(最終日6:00PMまで)

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側 ☎075-771-1011



畠中光享「私は私」

絵を描き続けるにあたって大切に思っているのは「自然から学ぶ」と「古典から学ぶ」ことです。この事から謙虚さを教えられ、エネルギーを与えられます。また絵は視覚的なもので良し悪しが瞬時に見えてしまいますが、それだけではなく「絵を読む」ことも必要です。これらも二人に共通した認識があると思います。(畠中)

【畠中 光享 略歴】

1947年生まれ。大谷大学文学部卒業、京都市立芸術大学専攻科修了。「横の会」や「NEXT」、「目-それぞれのかたち」や個展を中心に活動。'12年から〈Artist Group-風-〉の結成に参画、後進の育成に尽力している。現在、'18年に落慶予定の興福寺中金堂の法相柱絵を制作中。

展覧会：'09年「アジアの精神 私のこころ 畠中光享展」(エストニア国立美術館、ラトビア国立歴史博物館)、「11年 現代の日本画「中島千波・畠中光享」展(富山県水墨美術館他) '12年 日印国交60周年記念Kokyo HATANAKA Japanese Style paintings Exhibition (国立All India Fine Arts & Crafts Society/ニューデリー) など多数。

受 賞：'77年 第21回シュル美術賞、「78年 第21回東京セントラル美術館日本画大賞、「04年 京都府文化賞功労賞、「14年 京都美術文化賞など。

父がいなくなったあと、納屋の梁に妙なものが載っているに気がきました。ところが、3メートルほども高さがあります。にわかになんかすることもできず、そのまま放置しておきました。

10年が経ち、母も去りました。母が守ってきたものをひとつひとつ引き剥がすように古家の片付けを始め、ようやく梁の上の物体を降ろしてみました。何とそれは鳥の空巣でした。そのとき、畠中さんとの二人展のために、これを描こうと決めました。(林)

【林 哲夫 略歴】

1955年香川県生れ。画家、文筆家。武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。無所属。雑誌編集、装幀なども手がけ、著書に『蹄らざる風景-林哲夫美術論集』(みずのわ出版)、『喫茶店の時代』(編集工房ノア、第15回尾崎秀樹記念大衆文学研究賞受賞)、『古本屋を怒らせる方法』(白水社)、『書影でたどる関西の出版100』(創元社、第9回竹尾賞デザイン書籍優秀賞受賞)など。



林 哲夫「空(クウ)」

ユトリロとヴァラドン

母と子の物語—スザンヌ・ヴァラドン生誕150年—

と き/9月11日(金)~10月18日(日) 10:00AM~8:00PM

ところ/美術館「えき」KYOTO(会期中無休)

JR京都駅・京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111

パリの風景を詩情豊かに描いたモーリス・ユトリロ(1883-1955)と、ユトリロの母で画家のスザンヌ・ヴァラドン(1865-1938)の展覧会です。日本でも人気を誇る二人の親子関係を交えながら、油彩を中心に、ユトリロの作品約40点とヴァラドンの作約40点を展示します。

ユトリロはパリのモンマルトルに生まれる。父親は不明。7歳のときにスペイン人ジャーナリスト、ミケル・ウトリージョ(ユトリロ)・イ・モルリウスが認知し、モーリス・ユトリロとなる。絵画と恋愛に忙しい母に代わり、幼いユトリロの面倒は祖母の仕事であった。寂しい環境の中、十代の頃から飲酒癖があり20代でアルコール依存症のため入院。治療の一環として医者に勧められたのが絵を描くことだった。



スザンヌ・ヴァラドン
「窓辺のジェルメーヌ・ユッテル」
1926年 油彩

スザンヌ・ヴァラドンは、お針子の娘としてフランス中部リモージュ近郊に生まれる。父親は不明。幼くしてパリに出る。サーカスの曲芸をしていたが空中ブランコから落下し退団。やがてルノワールやロートレックといった著名な画家たちのモデルとなった。ロートレックや作曲家エリック・サティとの恋愛関係、18歳で父親の分からない息子を出産、49歳で21歳年下と再婚するなど、彼女の自由奔放でエネルギッシュな生き方はもちろんのこと、ドガが絶賛した確かなデッサン力や個性的な裸婦像の作品も圧倒的な存在感を示している。



モーリス・ユトリロ
「コルト通り、モンマルトル」
1916-1918年 油彩
(C)Jean Fabris 2015 (C)ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015 G0078

e・g・g・o 0049

江副拓郎 鉛筆画展

と き／9月3日(木)～12日(土) 10:00AM～18:00PM (会期中無休)

と ころ／大雅堂／1F展示室

京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

“女性の美”を、穏やかで優しい鉛筆画で表現する作品。繊細な鉛筆タッチも魅力の一つ。モノクロの新しい世界を、是非この機会にご高覧下さいませ。

(日頃の制作モチーフ・コンセプト)

僕は絵を描くとき、「美しいものを描きたい」と思います。

身近なもので美しいものはたくさんありますが僕が選んだ美しいものは「女性」です。

「女性」が持っている「華」という抽象的なものを、具象で表現するのが目的です。

笑顔や沈んだ顔、あるいは無表情。表情の動きひとつで感情が変わってしまうという、非常にデリケートな部分への探求でもあります。

(作家コメント)

作品に出てくる一人の女性を、鉛筆だけでシンプルに、しかしながら目線や口元などの微妙な表情や光と影の表現で描くことによって、白黒の世界に色彩を感じていただければと思います。

(作家在廊予定)

9月4日(金)～7日(月)、11日(金)、12日(土) 在廊予定 (都合により変更の場合あり)

【江副拓郎略歴】

1983年 京都生まれ 大阪在住

【個展】

2012年 「鉛筆画展2012」(ギャラリー風蝶庵、京都)

2013年 「鉛筆画展2013」(ギャラリー風蝶庵、京都)

2014年 「鉛筆画展「光の行方」(SoHo Art Gallery、大阪)

【グループ展etc】

2013年 アートサラダ7 (SoHoArtGallery、大阪)

2人展「monochrome」(ギャラリー4匹の猫、大阪)

Salon Art Shopping 2013 (Carrousel de Louvre、パリ)

2014年 海!展 (アートスペースさくらみ、神戸)

幻想世界の住人展 (ギャラリー風蝶庵、京都)

2015年 トランスナショナルアート2015 (江之子島文化芸術創造センター、大阪)

第6回 小さな絵の大博覧会 (ドラードギャラリー、東京)

2015春 美人・美少女画展 (ギャラリーえいじう、東京)

Lovers展 (アートスペースさくらみ、神戸)



「idea」



「記憶の反芻」

三浦景生展 一行雲流水

と き／9月4日(金)～10月18日(日)

と ころ／中信美術館 (月曜休館)

京都市上京区下立売通油小路東入(京都府庁西) ☎075-417-2323

このたび中信美術館では、当財団顧問であり染色家の三浦景生氏の展覧会を開催いたします。

1916(大正5)年、京都で7代続いた表具師の家に生まれた三浦氏。終戦後、故小合友之助氏に師事し、染色作家の道を進み始めます。布を染め分け裁断して貼り合わせる独自の「布象嵌法」などを用いた抽象表現の話題作を次々と発表。卓越した造形デザイン力で、独特の色彩世界を創り出してこられました。1984(昭和59)年に石川県立九谷焼技術研修所で図案の指導にあたり、これを機に自らも色絵陶器の制作を始められます。

本展では、屏風やパネルなどの染色作品に加えて、温かさとユーモア溢れる陶管や貴重なスケッチ、新聞連載の挿絵など70年にわたる多彩な創作活動の一端を紹介いたします。私たちが惹きつけ、感動を与え続けている三浦氏の芸術世界をご堪能ください。

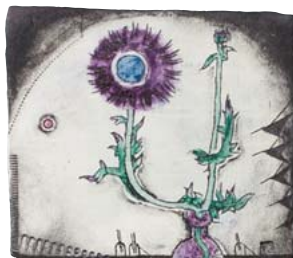
前期：9月4日(金)～9月27日(日)

後期：9月29日(火)～10月18日(日)

(期間中一部展示替えをいたします)



「洋梨・サクランボ」額装



「アザミ」陶



「ブロッコリーとホネ貝」額装



「牡丹之図」パネル

司 修展

―描くって楽しく苦しい―

と き／9月8日(火)～9月20日(日) 12:00～19:00 (最終日17:00まで)
と ころ／ギャラリーヒルゲート (月曜休廊)
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

今回は、ミクストメディアの新作と絵本原画を展示致します。画家・作家・装丁家…自由な表現者として知られる司修先生が、様々な技法を使って新作を制作して下さいました。いくつかの絵本の原画とともに、お楽しみ下さいませ。

◆夜話市民講座

講 師：司 修 (画家)

テーマ：「1970年代の青春」

日 時：2015年9月12日(土) 18:30～20:30

ギャラリーヒルゲート1F

参加費：1000円 (学生500円) 茶菓付

定 員：40人 (要予約)



「サンシャインシティより新宿方面」

司 修 (つかさ・おさむ)

1936年 群馬県前橋市生まれ。

中学卒業後、独学で絵を描き始める。

自由美術協会会員を経て、'64年主体美術協会の創立に参加 ('90年より無所属)

1976年 『金子光晴全集』の装幀により講談社出版文化賞。

1978年 『はなのゆびわ』により小学館絵画賞。

1986年 池田20世紀美術館で〈司修の世界〉展。

1989年 「バー螺旋のホステス笑子の周辺」が芥川賞候補。

1993年 「犬」(『影について』所収)で川端康成文学賞。

日本橋三越他で朝日新聞社主催「司修挿絵展 - 小川国夫『悲しみの港』」。

同年、第36回安井賞審査員。

2007年 『ブロンズの地中海』で毎日芸術賞。

2008年 「両洋の眼展」で河北倫明賞。

2011年 群馬県立近代美術館で「司修のえものがたり - 絵本原画の世界」開催。

『本の魔法』で第38回大佛次郎賞。

『戦争と美術』『語る絵』『絵本の魔法』『孫文の机』等の評論、『まちんと』『河原にできた中世の町』『雨ニモマケズ』他絵本、『風船乗りの夢』『壊す人からの指令』他の画文集等、著書多数。

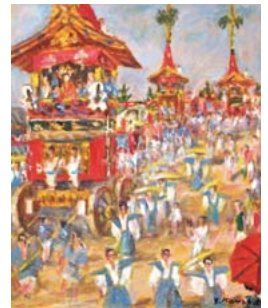
2014年 3月『絵本銀河鉄道の夜』(偕成社)、6月『幽霊さん』(ぶねうま舎)刊。

川端弥之助と春陽会の仲間たち

と き／9月15日(火)～10月10日(土) 10:30AM～6:00PM
と ころ／星野画廊 (日曜/月曜休廊)
京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

洋画家としては異色の経歴(慶応義塾大学法学部卒業)の持ち主、川端弥之助(1893-1981)は、フランス留学後の1925(大正14)年に春陽会展で滞欧作品を出品して以来、その生涯にわたり春陽会を作品発表の場とした。本展では川端の遺作を中心に、春陽会創立時(1922年1月結成、翌年に第1回展開催)の画家(足立源一郎、森田恒友、椿貞雄、長谷川昇)や、川端と同時代に活躍した春陽会の画家たち(伊藤慶之助、上野春香、国盛義篤、小林徳三郎、小林和作、田中善之助、田川勤次、三雲祥之助、山川清、若山為三)の作品を展覧する。

明るく大胆な筆触によるてらいのない画風の川端弥之助は、京都美大と嵯峨美術短期大学の教職を通じて後進を指導し、京都画壇の発展に寄与した功労者のひとりである。没後30年を過ぎてなお、「やのさん」と慕う京都市民は数多いと聞く。是非ご高覧ください。

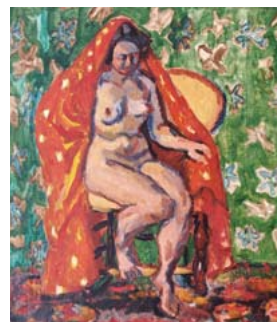


川端弥之助
「祇園祭山鉾巡行の図」

記念図録(頒価1000円)
出品全作品と関係資料多数掲載

川端弥之助 略歴

- 1893 (明治26) 年 京都市錦通柳馬場の乾物問屋に生まれる。
- 1918 (大正7) 年 慶應義塾大学法学部を卒業、京都に戻る。
- 1919 (大正8) 年 洋画を志し関西美術院に入り、澤部清五郎に師事する。
- 1922 (大正11) 年 渡仏。アカデミー・コラロッシでシャルル・ゲランに師事。
- 1924 (大正13) 年 サロン・ド・トーンヌに入選する。〈エッフェル塔〉
- 1925 (大正14) 年 帰国。第3回春陽会展に滞欧作品3点を出品する。
- 1931 (昭和6) 年 関西の春陽会系作家による「新興美術協会」の会員となる。
- 1932 (昭和7) 年 第10回春陽会展で春陽会賞を受賞する。
- 1939 (昭和14) 年 春陽会会員となる。
- 1956 (昭和31) 年 京都市立美術大学教授となる(1963年まで)。
- 1971 (昭和46) 年 嵯峨美術短期大学(現京都嵯峨美術大学)教授となる。
- 1972 (昭和47) 年 第1回京都市美術工芸功労者の表彰を受ける。
- 1973 (昭和48) 年 京都市文化功労者の表彰を受ける。
- 1981 (昭和56) 年 没。享年88。



国盛義篤「裸女習作」
1950 (昭和25) 年



椿 貞雄「鷓沼風景」
1922 (大正11) 年

〔今月の展覧会より〕

第1回「ジャパニーズ・モダン 江戸から現代へ」

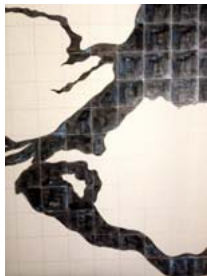
三樹正典展

と き／9月19日(土)～10月12日(月・祝) 12:00～18:00
と ころ／ギャラリー白川(祝日以外の月曜休廊)(東山安井信号東入ル南下ル)
京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

現代において「日本の美」を追求していくと、「日本の美」が生き生きと目に映る時代があります。「江戸時代」です。鎖国の中で豊かに成熟していったこの時代に視点を戻し、そこから現代へと繋いでいくことで新たな「日本の美」が生み出されていくのではないかと。この思いが、同じような視点で「日本の美」を追求している現代作家の皆さんを紹介していくシリーズを誕生させることになりました。

第一回目に紹介する作家は、三樹正典氏です。今、彼は、お寺や美術館・資料館の中にある和の建物の空間を彼の現代アートで埋め尽くす試みに取り組んでいます。2012 桜下亭(広島:重森三玲作庭茶室) 蘭島閣美術館(白雪楼・広島) / 2013 瑞峯院(大徳寺・京都) 明喜庵(爽籟軒・尾道) ひろしま美術館壁画(広島) / 2014 明星院(広島:上田宗箇流和風堂写) 和心庵(広島市植物公園) / 2015 頼山陽史跡資料館居室(広島) 専立寺(広島・吉和) 妙正寺(三原)等です。今展では、彼の手がけた作品の紹介を中心に新作を展示。ギャラリー白川では3回目の個展です。

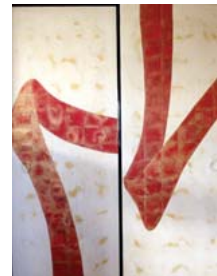
10月第2回、11月第3回と「ジャパニーズ・モダン 江戸から現代へ」は続きます。長年温めてきた企画のスタートです。どうぞ、ご高覧くださいませ。
ギャラリー白川 池田真知子



頼山陽史跡資料館居室
襖絵



頼山陽史跡資料館居室 襖絵



桜下亭 襖絵(秋)

久野隆史 日本画展

と き／9月26日(土)～10月10日(日) 10:30AM～6:30PM
と ころ／蔵丘洞画廊(会期中無休)
京都市中京区御池通り寺町東入ル ☎075-255-2232

何気ない普段の光景に突如として、とても緊張感のある間(ま)が出現することがある。気がつかないうちに過ごしてしまえばそれまでなのだが、感覚を鋭くしていると様々な処にあることがわかる。しかしそれはキッカケがなければ感じることができない。

作家によれば今回の作品群は遠、近、あるいは振り子運動をモチーフとし、その中間に存在するであろう「間」に焦点をあてたものであるという。イロ、カタチ、オト、ジカン、などを享受して生きている我々は、それらの連続性のなかで生活をしているがそこにある間(ま)にかんしては通常はスルーしてしまい感じることをしない。

久野隆史の作品は日常に潜む連続性の切断面を静かな佇まいで的確に表現し、見るものに「間」を考える機会を与えてくれる。そしてそれが妙に心地良い。

蔵丘洞画廊では2年ぶりの展覧会。どうぞご高覧下さい。

久野隆史 略歴

- 1966年 京都市に生まれる
京都造形芸術大学(京都芸術短期大学)で学ぶ。
- 1992年 風龍桜展(岐阜)
- 1993年 ビエンナーレ京都(京都文化博物館)
- 1999年 上野の森美術館大賞展(東京・京都)
- 2002年 京都府美術工芸選抜展(京都文化博物館)
- 2003年 第22回損保ジャパン美術財団選抜奨励展(東郷青児美術館)
- 2008年 第1回「The NIHONGA」-伝統と創造-(京都文化博物館)
- 2009年 「3つの平面」展(ギャラリー門馬 札幌)
- 2010年 ギャラリーマロニエ(京都)
- 2011年 蔵丘洞画廊/京都('13 '15)
- 2013年 閑々居/東京('15)
- 2014年 カホ・ギャラリー/京都
- 2015年 京都愛宕神社 復元大絵馬制作・奉納



「myouga」 22.2×27.4cm



「hajimari」 16.8×27.1cm



「dango」 15.5×17.2cm

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062		日本画常設展																														
画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938		貸画廊受付中																														
画廊彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468		展示休廊 土日祝：営業休み																														
画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225		日本画常設展																														
画廊ビーンズ 三条大橋東一筋目上ル東 771-3104																										第二日曜写生会作品展						
ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717		トールペイント展 田上優子				東大津高校美術部OB・OGによる展覧会・つれづれ展				京都市立芸術大学 漆工専攻 4回生10人 分業展				桂田礼子 ビーズ織り作品展																		
ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979		風の盆と阿波踊りを描く展 (松本祐佳)												休廊						夏の思い出展(パシリ) (松本祐佳)												
ギャラリーカート 中京区寺町御池下ル 231-7813	1F	昭和美術会選抜展				同立クラマ画会展				クラマ画会OG・OB展								第5回 RUA えんじ展														
	2F					楽・らく展								荒創会展																		
ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558		中村加代子作品展 (墨彩) 火曜日休廊				北村香織 彫刻作品展(火曜日休廊)																										
ギャラリー祇園小舎 東山区四条通糺手東入 551-3828		福井泰三 展				秋のおしゃれ 着物展				「植物画」4人展				彩美会2人展 安井淑子 西村寿子				同志社大学 スケッチクラブ OB展														
ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955										西日本デジタル 書作家協会展				龍谷大学写真部 新人展				街道展														
ギャラリーCreate洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898		中野和典個展 (油彩)				鬼束誠二郎個展 (立体)				鎌田戸喜子個展 (油彩)				六田和子個展 (油彩)				福井重男・藤井 喜久雄・鶴身 幸男 三人展														
ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F	島中光享・林哲夫 作品展(平面)				井上絵美子展(漆) (月曜休廊)				比佐水音展(日本画)				榎山孝 (平面)																		
	2F					黒田沙知子展(漆)				藤平三徳展(陶芸)				滑川道広展(日本画)				精華大学 陶と版画														
ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767		ご利用お申し込み受付中																														
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401																																
ざらざら思文閣 東山区古門前大和大路東 761-0001		思文閣大交流会																														
ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616																				第1回「ジャパニーズ・モダン、江戸から現代へ」 三樹正典展												
ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154		猫とペット展(木彫り、陶器、木工額他) 月曜休廊								染・用・要・美 京の染 紀田秀夫展 (シヨール・バッグ・Tシャツ・タペストリー他) 月曜休廊				川原崎純子 木工作品展 (オリジナル・時計等)																		
ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238		赤松加奈展 (平面)				加藤穂月展 (平面)				「あきらめて眠ることにした」 森由紀展(平面)				八嶋有司「The Dive」 -Methods to trace a city- (月曜休)																		
ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522		常設展 若冲・白隠・芦雪・蕭白・鴨居玲・熊谷守一他																														
ギャラリー象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738		常設展(貸ギャラリー受付中)																														
ギャラリー高倉通 中京区高倉姉小路下ル 221-3390		第2回 日本画 A・S展				貸画廊予約受付中																										
ギャラリーLittle House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559		Peace Card Kansai 2015												西村/遊馬2人展 「きのせい」				5美術大 交流展														
ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164		常設展(近代作家軸装・額装) 6、9、18、19、28、29休廊																														
ギャラリー知(とも) 中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160																																
ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632		美・京都なかむら展																														
ギャラリー中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253														岡崎きよ子展				今井義園展				原田 精二展										
ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町G3 461-0427		白崎信子ガラス作品常設展																														
ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	第18回板遊会展(版)				司修展-描くって楽しく苦しい- (油・水彩・版画の新作と絵本原画)				第4回派画会展				鈴木 4ー展 ENNEN EACTORY 版画展																		
	2F																	勝山正則・春枝展(版)				第23回洛楽展										
ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710		日本画常設展																														

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1
		曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
企	GALLERY FUKUMI SHIMURA 左京区岡崎神宮道西側 746-3303		志村ふくみ・洋子作品常設展																														
	貸 企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	加藤浩史展(平面)月曜休廊										作家たちの戯び心掌サイズのおもちゃ展										新田健展(平面)									
		4F	浦田沙緒音展(平面・インスタレーション)					栗栖仁美展(陶立体)					玉井佐知展(染色)					染織tomorrow 7大学推薦 若手の饗宴(染織)月曜休廊															
5F	古田充展(インスタレーション)					八田真那和展					中西、菜晶 二人展																						
貸 企	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997		花夢展					西川塾書画展					八田真那和展						中西、菜晶 二人展														
企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348		東北の手業展 4					水彩・色エンピツグループ展					長月の陶展…河井一喜						犬飼千賀子														
企	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450		陶芸作品常設展示																														
企	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700		“龍馬と酢屋”常設展(水曜休廊)																														
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110		常設展(水曜休廊)										藤井蓮 作品展(水曜休廊)																				
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321		常設展(日・月・祝休廊)																														
企	ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138		天田毅 青白磁展&絵画処分市(7日、14日、28日休廊)																														
貸 企	ギャラリーヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館 1F	水浪会展(水彩画)					墨林京都のなかま展“遠藤乾翠の今日”京都展					大人のこども会展 同志社大学OB					奥田百恵書作展 1007-イチゼロゼロナナ					京の風景 貝川代三										
		2F	水浪会展(水彩画)					一井良雄展(油彩)					ミエコミンツ ニューヨークからの情熱					書祭り2015秋					四季の会展										
2号館 1F	水彩画仲間展					一井良雄展(油彩)					ミエコミンツ ニューヨークからの情熱					書祭り2015秋					綾の手袖 染織工房												
2号館 2F	水彩画仲間展					一井良雄展(油彩)					ミエコミンツ ニューヨークからの情熱					書祭り2015秋					24人の物語り写真展(ワタナベミチ写真講座)												
貸 企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435		貸ギャラリー受付中																														
企	京都芸大ギャラリーアーク 中京区御池通堀川東入 334-2204		ARTであしあと6衣によそおう(図案)					つながる糸+ひろがる布(24日休廊)/関連展示(17日迄)																									
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000		未知の標本(現代美術)					中国美術学院展/サイレントアーク2015										ニューイ・フランシェ関連展示(28日休廊)															
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1
		曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305		戦争と学校-戦後70年をむかえて-(水曜休廊)																														
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	常設展示(木曜休廊)																														
貸 企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東河原東入 254-7902	1F	NHKカルチャー沖野豊デジタルカメラ教室					第21回萬画展										森澤保賢と写真仲間たち展															
企	COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	1F	展示についてはお問合せ下さい。																														
貸 企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	2F	展示についてはお問合せ下さい。																														
貸 企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423																																
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232		常設展 蔵丘洞ノ棚コーナー 日・祝休廊															久野隆史日本画展(会期中無休)															
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展	e・g・g・o 0049 江副拓郎鉛筆画展					常設展(コンセプチュアルリズムアート)日・祝休廊					休廊					常設展(コンセプチュアルリズムアート)日・祝休廊															
企	梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510		日本画・洋画・常設展(日・祝休廊)																														
貸 企	ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533		人気アニメセル画展										藤田嗣治 素描と版画展										中塾暢人・朗子 木工裁金展										
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670		名作発掘品展(日・月休)										「川端弥之助と春陽会の仲間たち」展(日曜・月曜休廊)																				
企	松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626		新・古書画常設展																														
貸 企	まるごのギャラリー 中京区姉小路寺町東入 744-0105		三田村直美 銅版画展(水曜休廊)										常設展(本荘正彦 木版画展)																				
企	村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960		常設展(火曜・祝日休廊)																														
貸 企	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341		貸ギャラリー受付中																														

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>